

北海道中央労災病院用地に決定

市は、市立総合病院と北海道中央労災病院の統合を前提とした新病院の建設に向けて、新病院建設基本計画の策定に取り組んでいます。

基本計画の中で決定する項目のうち、基本コンセプト（方針）や診療科・病床数、建設候補地などの重要な項目は、本年2月に、新病院の骨格（案）として示し、パブリックコメント（意見募集）や市民説明会、関係団体との意見交換会などを通じ

て、多くのご意見をいただきました。その結果、新病院の建設地に対する皆さんの関心が高いことから、建設地の決定を最優先事項としました。

いただいたご意見などを踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地を新病院の建設地に決定しました。

決定理由

新病院の骨格（案）で

〘早期性、と〘経済性、の観点から4つの建設候補地の中から選定することとしました。

建設候補地

- 旧競馬場用地
- 大和地区公共用地
- 旧駒岩用地
- 北海道中央労災病院用地

特に重視すべき観点として

防災と安全性	災害発生時における医療の継続性
利便性	公共交通機関などによるアクセスの確保

建設地を決定

災害時に交通が完全に分断されるリスクが低く、救急搬送をはじめとするアクセス確保の面から、国道に面した立地の優位性を高く評価し、北海道中央労災病院用地に決定しました。

これまでの経過

令和3年7月	〘岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院の統合に係る基本合意書、を締結
10月	新病院建設基本計画の策定に着手
令和4年2月	市議会の新病院建設特別委員会で〘新病院の骨格（案）〘を報告
3月	パブリックコメント、市民説明会、関係団体との意見交換会などを実施
4月	市議会の新病院建設特別委員会で、北海道中央労災病院用地を新病院の建設地とすることを報告

今後の予定

いただいたご意見なども参考としながら、本年9月をめどに引き続き基本計画の策定に取り組みます。

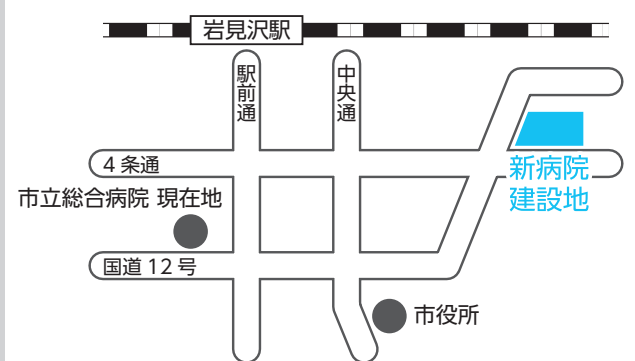
新病院の建設地に対しては、交通アクセスの利便性を重視する意見が多かったことから、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、今後、公共交通事業者など関係機関との協議を進めます。

新病院建設に関する詳しい内容は、市立総合病院ホームページをご覧ください



北海道中央労災病院用地の概要

所在地	岩見沢市4条東16丁目2番地外4筆
敷地面積	75,660㎡



問合先 市立総合病院 新病院建設準備室（9西7） ☎ 22-1650